

ベストマッチ[®] タマネギ用753

(寒冷地:中生用、温暖地:早生~極早生用)

17-15-13-Mg1

化成肥料と2種類の被覆肥料を配合し、寒冷地の中生品種、中間地・暖地の早生・極早生品種の生育に最適になるように設計された、タマネギ専用の肥料です。

N	窒素 (化成)	1.5 kg
	窒素 (被覆)	1.9 kg
P	りん酸 (化成)	3.0 kg
K	加里 (化成)	2.6 kg
Mg	苦土 (化成)	0.2 kg

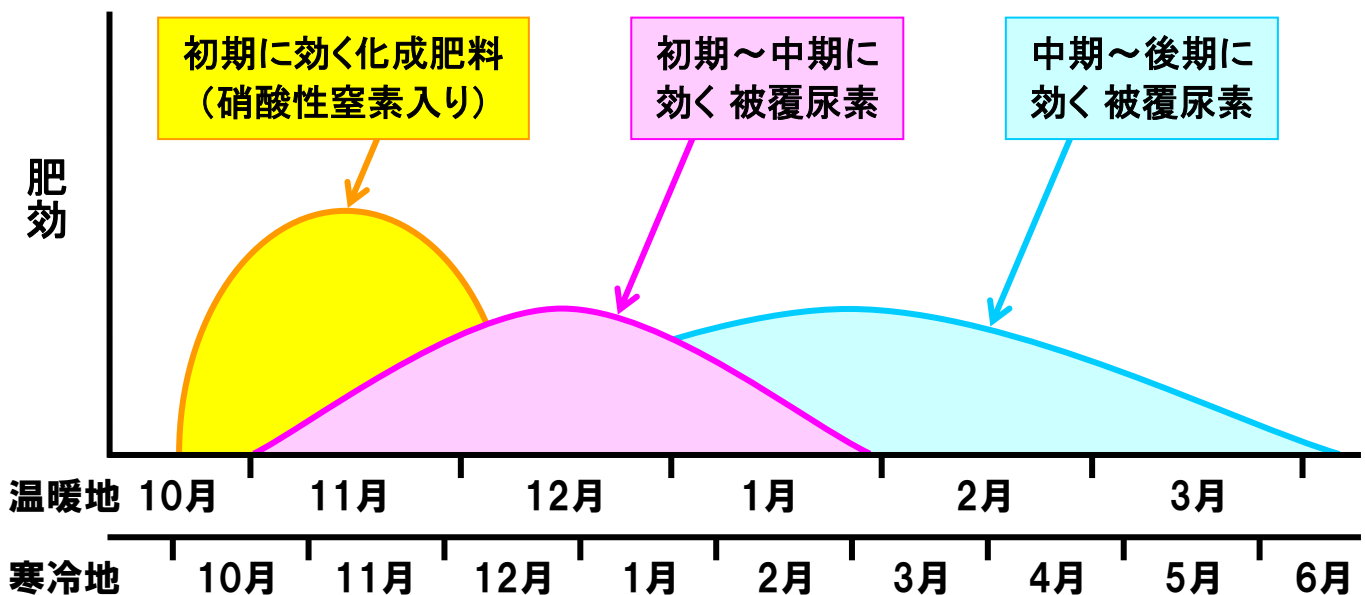
(1袋20kgあたり)

特長

タマネギ用に設計した専用肥料です。

9~10月に定植し、翌年の5月~6月に収穫する寒冷地の中生タマネギ、及び 10~11月に定植し、翌年の3月~4月に収穫する温暖地向けの早生・極早生のタマネギ用に、生育初期に必要な速効性化成肥料と、生育中期・肥大期に効く2種類の被覆尿素を配合しています。初期の低温期の活着促進には硝酸性窒素が効き、肥大期には被覆尿素が効いて肥大を促進します。一方、収穫期には肥効が切れて貯蔵性の高い球が形成されます。このため、タマネギの省力・安定生産に最適の肥料です。

ベストマッチ タマネギ用753の肥効イメージ



施肥量・施肥方法

施肥量は地域・品種により異なりますが、標準施肥量は120~160kg/10a(窒素成分量で20.4~27.2kg)が標準です。土壌改良材を通常通り施用した後、元肥施肥時に全量を施用してください。